

## 特集「栃木県青少年育成県民会議表彰」優良青少年団体の紹介 ～宇都宮共和大学子ども生活学部「親子遊びの会」における子育て支援活動～

宇都宮共和大学子ども生活学部では、子どもの豊かな生活環境を創造できる保育者を養成しています。このため、社会連携や地域貢献の活動を行う「子育て支援研究センター」が設置されており、その活動の一つとして「親子遊びの会」があります。

当会は、未就学児を育てる地域の子育て家庭を対象として、子どもの遊びや親子関係の支援、家族同士の繋がり作り等を目的にさまざまな活動を行っています。また、学生が主体的に運営に携わることで、保育実践力やコミュニケーション能力などの育成に繋がっています。



2022年度は「地域に寄り添う」を目的に、宇都宮市の子育てサークル『Kodomomフィットネス』と連携しました。5月から子育てサークルと企画会議を重ね、地域のニーズに沿った活動とは何かを考え、環境構成・教材を検討し、11月に本学で「親子フィットネス」というイベントを開催しました。

初めての子育てサークルとの共同事業であるため、まずは地域と大学との連携について学習会を行いました。外部講師のお話から、一人で「孤育て」を行う親を地域と繋げ、共に子どもを育てる繋がりを作ることが大切であることを学びました。また、イベント開催に向けて共同で準備を行うなかで、サークル代表から「同じように子育てに悩む親を支えたい」という願いを伺いました。しかし、子育てサークルは、利用者の入れ替わりが多いこと、集まる場所の確保が難しいことから、活動の継続が課題であることも教えていただきました。私たち学生は、このような地域の現状に関心を持ち、授業で得た保育の知識や技術を活かして、遊びで子育て家庭を支えることを具体的に考えました。

こうした経過を経て、子育てサークルと共同で「親子フィットネス」をテーマとして、ふれあい体操やかっこなど親子で触れ合う活動を行いました。当初は、慣れない環境に緊張して保護者のそばで過ごしていた子どもたちも、次第に大好きな保護者と手を繋いだり抱きしめられたり、満面の笑みを浮かべる姿を見ることができました。子どもたちは、初めて会った学生の手を自ら繋いで、積極的に玉入れやダンスを一緒にしてくれて嬉しく思いました。

保護者の方からは、「子どもたちの目がキラキラしていた」や「笑顔で楽しんでいる子どもたちをみて癒された」との言葉をいただき、子ども、保護者共に楽しめる場を提供できたことの達成感を味わいました。0～6歳という幅広い年齢の子どもが参加するイベントであるからこそ、さまざまな発達段階の子どもに接することができました。こうして、学生の深い学びになっただけでなく、保護者もよい刺激を得ることができたと思います。

今年度の活動で子育てサークルと連携したことにより、地域のニーズに寄り添ったイベントの開催に繋げることができました。学生にとって地域の子育て支援について関心を持ち、実践する契機となりました。



今後も、子育てサークルと連携を継続して、地域と子育て家庭を繋ぐイベントの開催を継続的に開催していきたいと思えます。親子が安心して参加できるプログラム開発に向けて、学生同士の学び合いを深めていきたいと思えます。

